

高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

「リカレント教育プラットフォームみえ」 第2回セミナーを開催しました

10月28日（月）、松阪フレックスホテルにおいて、リカレント教育プラットフォームみえの今年度第2回のセミナー「学びは健全な社会づくりの道しるべ」を開催し、約70名の方にご出席いただきました。

まず、竹上真人松阪市長より開会のご挨拶をいただきました。



松阪市長 竹上 真人氏

第一部の講話では、松阪中央総合病院 玉置久雄名誉院長より、「人も組織も健康な社会へ」と題して、認知症等を題材に、高齢になっても健康に生きるための知識と、能動的に興味を持って学習することの重要性をお話いただきました。



松阪中央総合病院 玉置 久雄 名誉院長

第二部では、近畿大学工業高等専門学校、津市立三重短期大学、高田短期大学、三重県立看護大学から、各機関が地域に提供する様々な学びの機会について具体例をご紹介いただきました。



近畿大学工業高等専門学校
齊藤 公博 校長



津市三重短期大学
村井 美代子 学長



高田短期大学
清水谷 正尊 学長



三重県立看護大学
宮崎 つた子 氏

最後に産学官金連携協議会委員長の鶴原清志三重大学理事より閉会の御挨拶をいただきました。

リカレント教育の重要性をあらためて確認し、プラットフォームの各教育機関における取組状況を知ることができる有意義な機会となりました。

リカレント教育プラットフォームみえでは、引き続き県内高等教育機関と社会との接続をより深化させ、三重県全体でリカレント教育を推進する取組を進めていきます。



三重大学
鶴原 清志 理事

HP : https://conso-mie.jp/2024/10/29/2024recurrent_seminar1028_report/

「リカレント教育プラットフォームみえ」 第3回セミナーを開催しました

12月6日（金）、戸田家において、リカレント教育プラットフォームみえの今年度第3回目のセミナー「明日の文化を創る地方からの発信」を開催し、約50名の方にご出席いただきました。

まず、中村欣一郎鳥羽市長より開会のご挨拶をいただきました。



鳥羽市長 中村 欣一郎 氏

続いて、鈴鹿大学、鳥羽商船高等専門学校、鈴鹿医療科学大学、皇學館大学から、各機関が専門とするテーマについてご講演と、社会に開かれた学びの取組についてのご紹介をいただきました。



鈴鹿大学
富本 真理子 氏



鳥羽商船高等専門学校
古山 雄一 校長



鈴鹿医療科学大学
豊田 長康 学長

皇學館大学
河野 訓 学長

最後に産学官金連携協議会委員長の鶴原清志三重大学理事より閉会の御挨拶をいただきました。

リカレント教育プラットフォームみえでは、引き続き県内高等教育機関と社会との接続をより深化させ、三重県全体でリカレント教育を推進する取組を進めていきます。

HP : https://conso-mie.jp/2024/12/10/2024recurrent_seminar1206_report/

2024年度県内高等教育機関合同開講授業「食と観光実践」(後期集中講義)が始まりました

四日市市をフィールドとして「食と観光」の“体験”を切り口に、地域課題の発見とその解決方法について、フィールドワークやグループワークから考えていきます。今年度は、四日市大学8名、皇學館大学4名、三重短期大学4名、三重大学3名の学生19名が参加しています。

●第1回 9月下旬 オンライン

事前学習として、インターネット上の統計情報提供サービスであるRESASを用いて、四日市市の人口的状況および産業・農林水産業的状況について、ワークシートを進めてもらいました。

●第2回 10月5日 オリエンテーション

① 「食と観光実践～ポストコロナの観光～」 鈴鹿大学・国際地域学部・冨本真理子教授

冨本先生の講義では、東西の文化が交わる三重県の特徴、コロナ前・後の観光の変化を踏まえた観光防災・多様性・常在観光への対応の必要性、現在行われている取り組みについて、ご講演を頂きました。

② 「四日市の食について」

四日市大学・総合政策学部・小林慶太郎教授

小林先生の講義では、食を考える上で求められる視点、四日市の食文化、四日市の食と産業の特徴について、生活・文化、経済・産業、安全保障など幅広い面から、ご講演を頂きました。

③ グループワーク

グループワークでは、冨本先生や小林先生の講義への感想、四日市市内の名所、観光のために必要な要素について、議論しました。

また、グループごとに発表をしてもらい、各先生から食、観光の現状を踏まえたアドバイスを受けました。



講義後の
グループワーク
の様子

●第3回 10月20日 レクチャー・グループワーク

第3回では、当日開催されていた四日市JAZZフェスティバル、四日市市立博物館、伊勢路テラス、じばさん(四日市市地場産業振興センター)の見学後、四日市市役所・観光交流課・中村課長補佐より「食と観光～四日市市の観光～」について、ご講演を頂きました。講演後は、四日市市の観光資源をテーマに、グループワークを行いました。



四日市JAZZフェスティバルの様子

●第4回 11月17日 フィールドワーク・グループワーク

第4回では事前に、グループ別のフィールドワーク計画を作成してもらい、四日市港ポートビル、霞港公園、四郷郷土資料館、ばんこの里会館、諏訪神社などへフィールドワークに出かけました。また、当日は第20回四日市よさこい祭りが開催されており、祭りで盛り上がる様子も見学しました。フィールドワーク後は、現地見学の報告および今後の提案に向けたグループワークを行いました。



第20回四日市
よさこい祭りの様子



フィールドワーク後の
グループワークの様子

HP : <https://conso-mie.jp/2024/12/10/2024shokutokanko-1/>

2024年度県内高等教育機関合同開講授業「食と観光実践」(後期集中講義)においてグループワークを継続して行っています

●第5回 12月1日(日) グループワーク(皇學館大学)

第5回では、皇學館大学を会場として、「食を使った観光誘客の方法」についてグループワークし、検討内容をプレゼンしてもらいました。



皇學館大学が会場です



プレゼンに向けて
準備する学生たち



プレゼンを行う様子



HP : <https://conso-mie.jp/2024/12/15/2024shokutokanko-2/>

「リカレント教育プラットフォームみえ」 第2回シンポジウムを開催しました

1月31日（金）、アストホールにおいて、リカレント教育プラットフォームみえの今年度第2回目のシンポジウム「教育が担う地域の未来」を開催し、約90名の方にご出席いただきました。

まず、産学官金連携協議会委員長の鶴原清志三重大学理事より開会のご挨拶をいただきました。



会場の様子



三重大学
鶴原 清志 理事

第一部講演では、末松則子鈴鹿市長をお迎えし、鈴鹿市が今年度新たに実施した、三重大学リカレント教育センターによるオーダーメイドプログラムを活用したリカレント研修について、実施に至った経緯やその効果、実際に受講された職員の方の声も交えながらご説明いただきました。



鈴鹿市長 末松 則子氏

続く第二部では、リカレント教育プログラムを実施している企業の方々から、人材育成におけるリカレント教育の必要性や教育プログラムの成果、感想、今後の課題について報告がありました。また、三重大学リカレント教育センター副センター長の青木雅生氏から、センターが提供するリカレント教育の紹介と、その意義や社会的動向についての講演が行われました。



三重交通グループホールディングス株式会社
早川 正素氏



株式会社戸田家
宍倉 秀明氏



キオクシア株式会社
江口 英孝氏



三重大学
青木 雅生氏

岩崎恭典リカレント教育プラットフォームみえ評価委員会委員長より、本プラットフォームが今年度取り組んできた、「リカレント教育プログラムの評価方法」及び企業に向けた「学びなおしの環境整備に向けたチェックリスト」の作成についてご報告いただきました。



評価委員会委員長
岩崎 恭典氏

最後に参加者交流会を行い、活発な情報交換がなされました。



交流会の様子

リカレント教育プラットフォームみえでは、引き続き県内高等教育機関と社会との接続をより深化させ、三重県全体でリカレント教育を推進する取組を進めていきます。

HP：https://conso-mie.jp/2025/02/07/2025recurrent_symposium0131_report/

「みえまちキャンパス in みかん大」を開催しました

2月20日（木）三重県立看護大学にて「みえまちキャンパスinみかん大」を開催しました。今年度は5団体と参考発表1団体の計6団体の学生たちが参加し、プレゼンテーションとパネル展示による発表を行いました。参加校の学生による意見交換会・交流会も行い、親睦を深めました。

はじめに、高等教育コンソーシアムみえ地域貢献部会の伊東部会長（鈴鹿大学）からご挨拶があり、続いて開催校である三重県立看護大学の片田範子学長から開会のご挨拶がありました。その後、審査員紹介と発表団体紹介が行われました。



鈴鹿大学
伊東 直人 氏



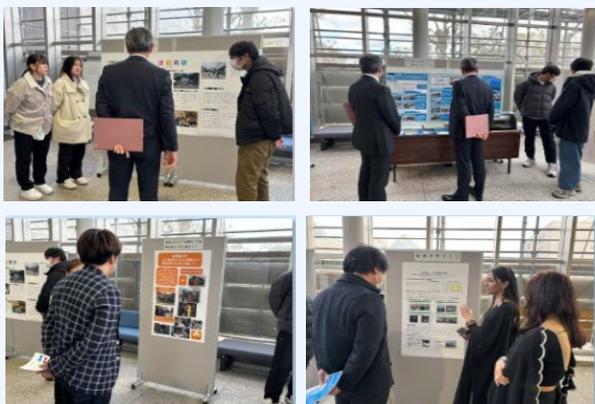
三重県立看護大学
片田 範子 学長

続いて、プレゼンテーションとパネル展示による発表が行われました。発表ではそれぞれの活動に対して、来場者や審査員から質疑や激励のコメントが活発に飛び交いました。

- プレゼンテーションとパネル展示
 - ・ 鈴鹿大学ICC「留学生による地域貢献」（鈴鹿大学）
 - ・ みかん大暮らしの保健室
「地域の人々と健康を考える」（三重県立看護大学）
 - ・ リニアインパクト最大化プロジェクト
「リニアインパクト最大化に向けて」（皇學館大学）
 - ・ 鳥羽なかまち（仲間ち）で地域活性化に取り組もう！
「なかまちの人々との交流」（皇學館大学）
 - ・ 三重創生ファンタジスタクラブ「三重創生ファンタジスタクラブの活動紹介と今後の展望」（三重大学）
- プレゼンテーション（参考発表）
 - ・ 食と観光実践Eグループ「伊勢茶を使った料理による新たな誘客プラン」（四日市大学・三重短期大学合同）



プレゼンテーションの様子



パネル展示の様子

審査員による採点及び来場者の投票により、表彰された受賞団体は次のとおりです。

プレゼンテーション部門

最優秀賞：みかん大暮らしの保健室（三重県立看護大学）
優秀賞：リニアインパクト最大化プロジェクト（皇學館大学）

優秀賞：鈴鹿大学ICC（鈴鹿大学）

パネル展示部門

ベストパネル賞：三重創生ファンタジスタクラブ（三重大学）

当日は、参加校の学生による意見交換会・交流会も開催され、学生同士で交流を深めることが出来ました。

また、企画・運営は、開催校である三重県立看護大学の教職員及び学生により行われました。



集合写真



参加校の学生による意見交換・交流会

HP：<https://conso-mie.jp/2025/03/06/20250220miemachi/>

令和7年度高等教育コンソーシアムみえ 単位互換履修生を募集します

県内の高等教育機関の学生が受講できる、令和7年度単位互換授業の一覧を作成しました。通常受講ができない他高等教育機関の授業を受講できるチャンスですので、ぜひ検討してみてください。

※出願期間は所属機関によって異なる場合があります。必ずご自身の所属機関にご確認ください。

HP：<https://conso-mie.jp/credit/>

前期集中講義「日本理解特殊講義(医療・健康・福祉実践)」が開講されました

2月12日（水）～17日（月）高等教育コンソーシアムみえの単位互換科目である三重大学 後期集中講義 「現代社会理解実践1（次世代産業実践）」が実施されました。

本科目は、最先端のデジタル技術に触れ、それらを実践的に利用することで、今後ますます加速する情報化社会の変貌に対し、次世代を担う三重創生ファンタジスタとして備えるべき発想力と実践力を学ぶ内容となっております。

今年度は、三重大学が所有するコモンスペースであるCeMDS（数理・データサイエンス館）において授業が行われ、三重大学6名、三重短期大学2名の学生が参加しました。



VRゴーグルを着用して仮想空間を体験する様子



ドローン操作を体験する様子

HP：<https://conso-mie.jp/2025/03/11/2025jisedaisangyo/>

発行元：高等教育コンソーシアムみえ事務局
連絡先：059-231-9969

下記の機関で三重創生ファンタジスタの養成をしています。

三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、四日市看護医療大学、三重短期大学、高田短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校、三重県

